

低揮発性 磁性コロイド L-09

磁性コロイドL-09は当社が強磁性体の磁区観察用に開発しました低揮発性の磁性コロイドです。磁性コロイドL-09は従来の水性のコロイド液と比較しますと乾燥が遅く、長時間に渡る観察や、高温度の試料の観察に適しています。また、非水系のため試料が錆びる心配が少なくなっております。

用途

強磁性体の磁区図形の観察

(姉妹品：水性の磁区観察用コロイドとしてA-05D、A-07があり、磁気メディア観察用コロイドとして水性のA-05M、速乾油性のD-10があります)

使用方法

- 蒸着膜などの鏡面試料の場合は前処理は不要で、直ちに磁区観察を行うことができます
- 非鏡面試料の場合は、試料の特性に合致した方法（物理研磨・電解研磨等）で表面処理を行い鏡面を得た後に観察を行います
- 少量のコロイド液を試料に滴下し、カバーガラスをのせ軽く押し付けて液を全面に行き渡らせた後に金属顕微鏡などで観察します
- コロイド液はやや濃く調製してあります。原液でも使用可能ですが、付属の溶剤で希釈して最適濃度でご使用下さい
- 顕微鏡は暗視野照明を備えたものがが必要です。通常の落射光照明で磁区がよく見えない場合は暗視野照明に切り替えてみて下さい
- 試料に付着したコロイド液は観察終了後石油ベンジン、ヘキサン、ヘプタン等で洗い流すことができます
- ある程度の高温での観察が可能ですが、温度が高くなるにつれてコロイド粒子の熱運動が盛んになるために磁区の検出感度は低下します
- 長期間静置した後は上下層間に濃度差が生じることがありますので、使用前によく振り混ぜて下さい

乾燥速度

水性磁性コロイド液A-07との乾燥速度の相対比較データを下に掲げます

A-07	温度:20℃(相対湿度:70%)	0.04mg/cm ² ・min
A-07	50℃(相対湿度:13%)	2.6
L-09	50℃	0.02

保存方法

- 密栓して異物の混入を避け、なるべく冷暗所に保存して下さい
- 強い磁界中に置かないようにして下さい

主成分 マグネタイト（四三酸化鉄）・イソパラフィン（引火点140℃）・界面活性剤

荷姿 25mlガラス瓶入り（付属品：希釈用溶剤50ml、スポイト2本、希釈用容器1個）



株式会社シグマハイケミカル

本社 〒251-0861 神奈川県藤沢市大庭5244-1 TEL 0466-88-2131 FAX 0466-87-8267
開発部 〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園817-12 TEL 0467-58-6601 FAX 0467-85-1802